

科目名	卒業研究	英語科目名	Graduation study
開講年度・学期	平成22年度・通年	対象学科・専攻・学年	物質工学科5年
授業形態	実験	必修 or 選択	必修
単位数	13単位	単位種類	履修単位(45h)
担当教員	物質工学科全教員	居室(もしくは所属)	電気・物質棟3、4階、専攻科棟4階 物質工学実験棟1、2階
電話	各教員内線電話番号	E-mail	各教員E-mail
<b>授業の達成目標</b>			
1. 自ら研究の問題点を把握し、解決できるようになること(理解度) 2. 専門分野の実験技術を習得すること(習熟度) 3. 自ら文献調査を行い、実験計画を立てられるようになること(計画性) 4. 研究をまとめる能力および文章作成能力を身につけること(論文) 5. 専門分野の英語論文を読み、内容を理解すること(英語文献) 6. 研究成果をプレゼンテーションする能力を身につけること(発表)			
<b>各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法</b>			
達成目標1~3、5: 日頃の研究態度、課題などの評価			
達成目標4: 卒業論文による評価			
達成目標6: 中間発表会(ポスター)と卒業研究発表会(口頭)による評価			
<b>評価方法</b>			
達成目標1~5: 指導教員が評価する。達成目標6: 主査(指導教員)と副査2名による審査で評価する。 評価の割合: 達成目標1(10%)、達成目標2(10%)、達成目標3(10%)、達成目標4(20%)、達成目標5(10%) 達成目標6(40%: 中間発表20%、卒研発表20%)			
<b>授業内容</b>			
4年次後期の総合工学実験で配属された研究室において研究テーマ選択を行う。 各指導教員の下、研究テーマに沿った文献調査(英語文献を含む)、実験方法の検討、装置の組み立て、試料の準備、実験、結果のまとめを行う。最終的には、これらのことを学生自ら行うことができるようにする。 研究成果の発表は、中間発表会と卒業研究発表会にて、2回行う。中間発表は、ポスター形式で10月初旬に行う。 卒業研究発表は口頭発表形式で2月初旬に行う。 研究成果は、卒業論文にまとめ、2月末までに指導教員に提出する。			
キーワード	卒業論文、研究、英文読解		
教科書	特になし		
参考書	各指導教員が推薦する研究に必要な書籍		
小山高専の教育方針①~⑥との対応	②		
<b>技術者教育プログラムの学習・教育目標</b>			
(A-2)、(A-3)、(B-1)、(B-3)、(D-2)			
JABEE基準1の(1)との関係	d(2-b), d(2-c), d(2-d), e, f, g, h		
<b>カリキュラム中の位置づけ</b>			
前年度までの関連科目	物質工学科全ての授業科目		
現学年の関連科目	物質工学科5年全ての授業科目		
次年度以降の関連科目	なし		
<b>連絡事項</b>			
特になし			
シラバス作成年月日	平成22年2月28日		